

ISO/TC204/WG5 ポツダム会議情報

中村 徹

ITS・新道路創生本部

1 ISO/TC204/WG5

ISO/TC204/WG5は自動料金収受システム（EFC¹）に関する国際標準を検討するグループである。ISO/TC204/WG5の会議は、欧州のEFC規格を検討するCEN/TC278/WG1と合同で、主に欧州にて年間4回の会議が開催されている。

ISO/TC204/WG5では、EFC全般の規格を検討するSG1、DSRCに関するEFCの規格を検討するSG2そして測位衛星を利用したEFCの規格を検討するSG5の3つのサブグループがある。

一昨年までは欧州統一課金（EETS）を実施するための規格検討がSG5で行われてきたが、現在はそれら規格が技術仕様書として発行されたため、一段落している。

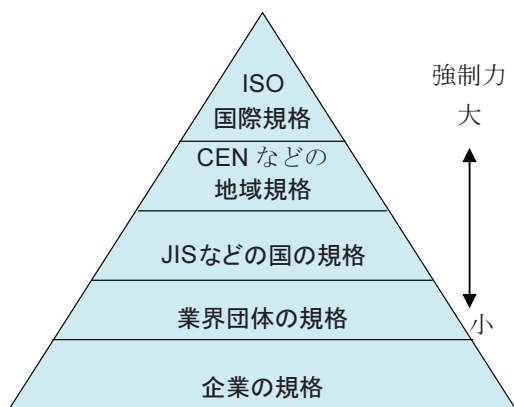


図1 規格の構造

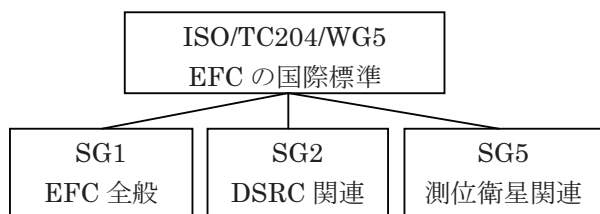


図2 ISO/TC204/WG5の構成

現在はEFC全般に関する規格（SG1）とDSRC関連の規格（SG2）の検討が活発に行われている。

SG1では、日本から提案している3項目と韓国が提案の準備をしている1項目、SG2では欧州から提案している1項目が主に議論されている。日本から提案している項目を表1に示す。

表1 日本提案項目

Investigation of charging policies and technologies for future standardization (将来の標準化のための課金方針と技術の調査)
Requirements for EFC application interfaces on common media (共通メディアにおけるEFCアプリケーション・インターフェイスの要求事項)
Support for traffic management (仮題) (EFCを利用した交通管理)

2 ISO/TC204/WG5 ポツダム会議

ISO/TC204/WG5の会議に参加している国は、欧州の国々²が多く、欧州以外からは日本と韓国だけである。2015年10月にポツダムで開催されたISO/TC204/WG5の会議は、TC204の合同会議（他のWGも同時開催）ということもあり、欧州、日本そして韓国以外に中国とシンガポールからの出席があった。中国の出席者は今後ISO/TC204/WG5の会議に出席する意向を示した。

¹ EFC：Electronic Fee Collectionの略である。国際標準ではETCではなくEFCという呼び名を使用している。

² スイス、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、ドイツ、フランス、チェコ、オーストリア、イタリア、ポルトガル、スペイン、オランダ

アジア地域から日本以外に ISO/TC204/WG5 に参加することにより、日本から国際標準案として提案する新規項目が 1 カ国（日本）だけで使われている技術ではなく、アジア地域で利用されている技術であることを欧州のメンバーに納得してもらえるため、韓国や中国（アジア地域）の参加は日本にとって重要である。

今後、ISO/TC204/WG5 の会議に向けた中国、韓国そして日本の意思統一と新たな国際標準案を議論するアジア会議が必要と思われる。

3 ポツダム会議の審議事項

ISO/TC204/WG5 ポツダム会議では、日本から国際標準案の新規項目として提案していた 3 項目の審議が行われ、3 項目とも新規項目として承認された。

1) Investigation of charging policies and technologies for future standardization

2015 年 6 月に開催された ISO/TC204/WG5 ストックホルム会議において PWI（予備作業項目）として承認され、2015 年 10 月の TC204 総会で NP（新規作業項目）と CD（委員会原案）へ進むことが承認された。

2) Requirements for EFC application interfaces on common media

2015 年 10 月に TR³ として発行された Investigation of EFC standards for common payment schemes for multi-modal transport services (TR19639) を構成する一部 (part3) として提案していたが、個別の項目が望ましいという意見があり、個別項目の PWI として承認された。

3) Support for traffic management

当項目は、Investigation of charging policies and technologies for future standardization が CD もしくは TR として発行された後、新規項目として提案する予定であったが、議長の判断で PWI として承認された。

4 今後の日本の活動

ISO/TC204/WG5 国際会議に向けて、韓国や中国の意見を盛り込みながら日本が提案した新規項目のドラフトを作成する予定である。

³ Technical Report : 技術文書

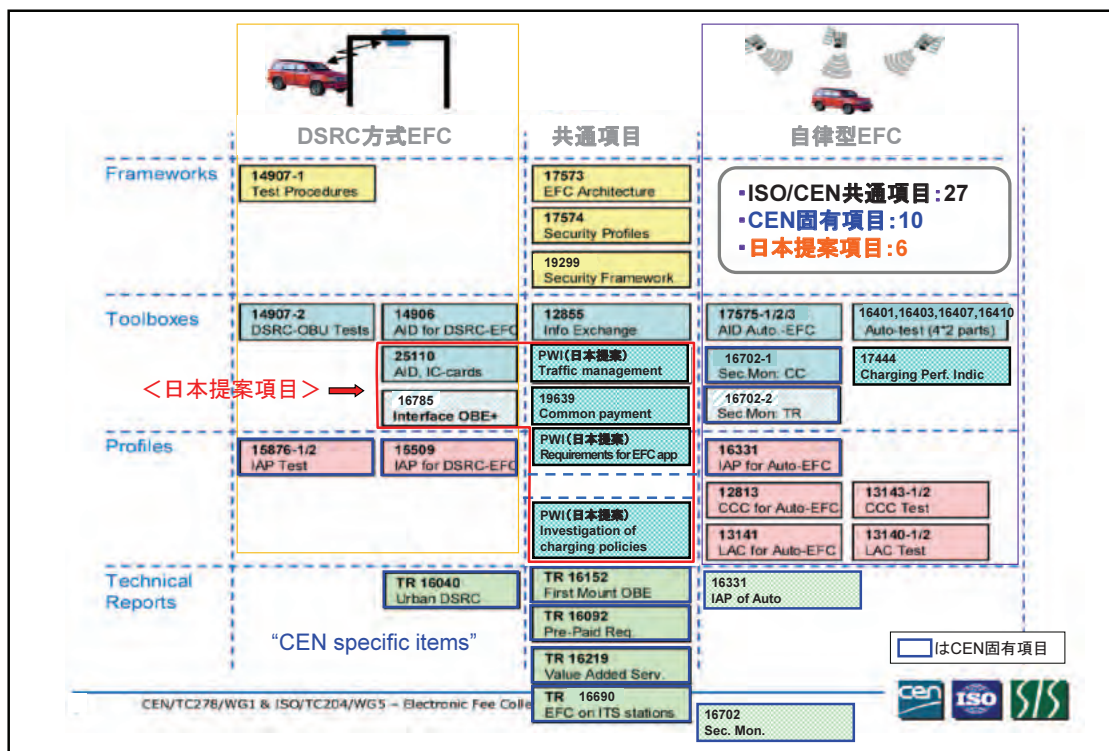


図3 ISO/TC204/WG5 の作業項目